





だったのでその時の衝撃と悲しい経験を思い出してくれたと思いました。

2014年12月7日の奨学生会議の後、エルビラさんからユキが学校に全く行かなくなったことを伝えられ、エルビラさんは学校側とユキの更生への協力を要請したとのことでした。しかし、ユキは学校に再度通うことに対して何も返事をしませんでした。家庭訪問をした時に、エルビラさんからはユキがマリガヤハウスは自分の人生に介入する権利はないと言っていたことを知らされました。しかし、私達は奨学生である彼女の状況を知る権利があるため、家庭訪問を続行しました。エルビラさんの娘ジュリエンさんと話をすることができました。彼女によると、ユキが学校を辞めた理由はボーイフレンドがユキともっと一緒にいたいため、彼女を彼の家に引き止めていたから

らだそうです。ボーイフレンドは17歳の未成年ですが、母親は海外在住、父親は別の女性と暮らしています。また彼は15歳で同級生を妊娠させていますが、その子どもの面倒はみず、麻薬中毒に罹っているようでした。ユキは彼と出会ってから生活態度が変わってしまったようで、朝食をとった後はボーイフレンドの家に行き、夕食頃になるとエルビラさん宅に戻ってくるそうです。夕食後もボーイフレンドの家に行き、エルビラさん宅に戻ってくるのは夜中12時過ぎだそうです。こんな生活を毎日続けているそうです。未成年であるユキの荒れた生活態度を更生させるために、児童養護施設に入所を勧めましたが、ここで兄達が反対しました。幼い頃、兄達も墓地から男子専用施設に入所して家族が離れ離れになって辛かったと言うトラウマがあるためだそうです。しかし、兄達は経済的にユキの面倒を見るのが難しい上、一番上の兄は近々子どもが生まれます。そんな中で、ユキが更生し学校に復学できるかは疑問です。

### ソーシャルワーカーのアセスメント

ユキはボーイフレンドへの気持ちが大きく、周りが見えない状況になっています。そして彼女自身の人生なのですが、ボーイフレンドに全てを委ねてしまっているようです。彼と一緒にいることで完璧な人生を築き上げられると思込んでしまっています。マリガヤハウススタッフ、家庭訪問に同行したイエズス会トマス神父、エルビラ一家、バランガイスタッフから何度も復学と更生の説得がされましたが、全く聞く耳を持ちませんでした。また、彼女はマリガヤハウスが彼女のプライベートに介入することを良く思っていないので、これ以上介入するのは難しいと感じました。エルビラさんは心からユキのことを心配していますが、ユキがその気持ちをしっかりと理解することは今は難しいと思います。

